

50期生の皆さん、いよいよオーストラリアでの研修旅行が始まります。何か、ワクワクしますね。皆さんが、事前活動や学習等で、自分たちで計画したり調べたりしたことを、実現する 때가 きました。私も旅行が好きで、旅先で「何を食べようか」「何して遊ぼうか」など、行く前にあれこれ調べます。そして実際の旅行でその通りだと、とてもうれしくなります。でも自分が考えていたのと違うことも、もちろんあります。それもまたおもしろい。

人から話を聞くよりも自分の目で実際に見たほうが確かであるという意味の「百聞は一見に如かず」という諺があります。

” Seeing is believing.”

ですね。今回の研修旅行を通して、オーストラリアの自然や文化、歴史や伝統、生活習慣や日常会話などを直接体験することにより、これまで学校で学習してきたことと関連づけて、理解を深めてほしいと思います。今は、ネットであらゆる情報が得られますが、本物に触れることによる「感動」から、知性と「感性」を育むこと、特に生きた英語に触れる絶好の機会です。これまで学んできた英語を活用することで、皆さんの英語力が、今以上に向上することを期待します。あるいは、「全然通じなかった。」とショックを受けるのも、またいい経験です。

また、日常を離れての旅は、きっと思いがけない発見をもたらすことでしょう。見知らぬ土地での発見、今まで気づかなかった友だち同士の間での発見、そして、自分自身にも再発見があるかもしれません。

「旅の恥は、かき捨て」という諺もあります。

” What happens in Vegas, stays in Vegas.”

でしょうか。でも、これは、絶対ダメですよ。旅には、トラブルは、つきものですが、その時は、あわてず、私たち大人に連絡や相談してください。そして、避けられるトラブルは、絶対避けましょう。そのためには、いつも以上に、決められたルールとともに、現地の習慣やマナーを守りましょう。

“When in Rome, do as the Romans do.”

最後になりましたが、今回の研修旅行に快く送り出してくださった保護者の皆さん、入学当初から計画や準備を進めてくださった先生や旅行会社の方々など、多くの人の支えがあって、今回の研修旅行が実現しています。「感謝」の気持ちを持ちましょう。

「感動」、「感性」、「感謝」の3つの「感」を大切にしながら、この研修旅行が、皆さんにとって、他の何ものにも代えがたい一生の宝物となること、そして何より、私たち教職員も含めて全員が、笑顔で帰国できることを願いつつ、結団式での挨拶といたします。

さあ、思い切り、楽しんで来てください！

“Now , Let’ s enjoy our study tour in Australia! Here we go!!”